

平成30年12月28日(金)

平成が終わろうとしています。

平成の年号の発表は、広東のホテルで聞いた。広東から香港まで船で渡った。平成になって初めての日にこんな外国にいながら時を過ごすなんて驚きだということと同僚と話したのを覚えている。あの時に一緒だったのは、今、会津高校の校長先生の山内先生であったと思う。同じ田村高校の国語科の研修旅行で、上海—桂林—広東—香港の旅行に出かけたのであった。山内先生は野球部の部長で、私が監督であった。その年の夏には、ベスト8に入った。その時のキャプテンが今、いわきに住んでいるのが今年分かった。私の采配は、へなちょこだったが、山内先生は名部長であった。どこからかいつもお金を調達してくれた。

桂林で旅行隊は、怪しげなところに連れていかれ、掛け軸や印鑑の石や壺など売りつけられたのだったが、最初は1万円であったものが、最後は500円くらいまで値を下げるので、山のように買っていく人もいた。

「今日は社長の息子の誕生日、皆さんお祝いですからたくさん安くしますよ。」といわれ、乾杯とお酒を飲むと、我先に商品に手を出すのが日本人の性格なのだなど妙に感心した覚えがある。

そういう私も掛け軸を2本で5000円で手に入れた。

あの掛け軸はその後どこに行ったか分からなくなっている。

ホテルで食べた竜虎料理は、アリのクイと蛇であることがおぼろげながら分かったので、最後のチャーハンしか食べられなかった。チンタオビールは生ぬるかった。

30年以上過ぎて、中国はまさしくパラダイムシフトの発展を遂げた。中国の元がこれほど世界に通用する通貨になるとは思いもよらなかった。

平成が終わろうとしている。この30年の大変化は、この後のどのような変革の前触れとなるのか。

さて、我が磐城高校は、これからどのように変わっていくべきか。変わらないところをどのように維持していくべきか。年末から年始にかけて、じっくり考えてみようと思います。

生徒諸君、勉学するべし。少年老い易く学成り難し。一寸の光陰軽んずべからず。

皆様、なによりもまず、健康が大切です。よいお年をお迎えください。

偶成 朱熹

少年易老學難成

一寸光陰不可輕

未覺池塘春草夢

階前梧葉已秋聲

偶成

朱熹 (南宋 一一三〇～一二〇〇)

少年老い易く学成り難し

一寸の光陰軽んず可からず

未だ覚めず池塘春草の夢

階前の梧葉已に秋声